

＝公益財団法人 日韓文化交流基金＝

## 平成26年度 日本大学生訪韓研修団 団員募集要項(韓国外交部招聘)

日本国外務省と大韓国外交部は毎年、大学生を対象とした招聘事業を相互に行っています。

今年度は、「食文化」というテーマのもと、大韓国外交部の招聘にて韓国の歴史や様々な文化を学び、韓国の方々との交流を通じて韓国社会や日韓関係に対する理解増進を目的とした訪韓研修を実施します。

なお、この研修は日本政府の「JENESYS2.0」としても位置付けられ、韓国滞在中に開催予定の「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」に参加し、日本について知ってもらうためのブース運営に参加していただく予定です。

未来に輝く大学生のみなさん！たくさんのご応募をお待ちしています！

### 「JENESYS2.0」とは…

安倍総理は、3万人規模で、アジア大洋州諸国及び地域との間で青少年交流事業「JENESYS2.0」（2007年から実施したJENESYSの後継事業）を実施することを発表しました。本件事業は、日本経済の再生に向けて、我が国に対する潜在的な関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目指しています。

### 事業概要

#### (1) 主催者

日本国外務省、大韓国外交部

#### (2) 実施機関

公益財団法人日韓文化交流基金、韓国国際交流財団

#### (3) 研修日程

事前説明会	出発日	帰国日
9月9日(火)	9月10日(水)	9月19日(金)

#### <事前説明会>

内 容：趣旨説明、研修内容の説明、連絡事項伝達、渡航に関する準備、役割分担など

時 間：14：30～18：30（予定）

開催場所：日韓文化交流基金会議室

#### (4) 研修内容

韓国滞在中の日程編成及びそれに伴う手配などは、本件の韓国側事務局である韓国国際交流財団が行います。

研修内容例（諸事情により研修内容に変更が生じる場合があります。）

研 修 例	
9月10日（水）	移動、到着
11日（木）	講義、歓迎昼食会、学校訪問、韓国文化体験、視察など ホームステイ（1泊もしくは2泊）
12日（金）	
13日（土）	
14日（日）	日韓交流おまつり 2014 in SEOUL ボランティア活動 （日本体験ブースの運営やボランティア活動を予定）
15日（月）	視察、韓国文化体験、研修評価懇談会など
16日（火）	
17日（水）	
18日（木）	
19日（金）	帰国

※「日韓交流おまつり in SEOUL」については下記 URL を参照下さい。

<http://www.omatsuri.kr/japan/index.asp>

#### (5) 募集人数・応募資格

研修に参加する**団員28名**を募集する。

- ① 日本国籍もしくは日本の永住権を有し、日本の四年制大学及び六年制大学の学部在籍していること。  
※永住権を有する方は、応募時の書類に永住権を証明し得る公的証明書のコピーを添付してください。
- ② 韓国に継続して1か月以上滞在した経験がないこと。
- ③ 訪韓時に**満30歳以下**であること。
- ④ 平成26年9月9日の事前説明会及び10日間の研修の全日程に参加できること。
- ⑤ 団員決定後、当基金が課す課題の提出が可能であること（事前のリサーチ、事後のレポート提出を予定）。
- ⑥ 韓国滞在中に予定されている「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」の会場におけるブース運営・ボランティア活動、及び渡韓前の事前準備に積極的に取り組めること（浴衣や甚平等の和装を訪韓時に持参できる方、お持ちいただいたものを一人で着ることができる方は「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」当日、和装での活動をお願いする予定）。
- ⑦ 研修中、健康面を含めた必要な自己管理が可能であること。
- ⑧ 研修終了後に当基金及び外務省が行う定期的なアンケートへの協力が可能なこと。また、研修での経験を学校または公共の場における報告会、ポスターや写真、インターネット等による情報発信が可能なこと。

※ 過去に日本政府の派遣事業による派遣歴のない者を優先致します。

## (6) 経費負担

### <主催者負担>

- ① 往復航空運賃、空港使用料及び航空保険料
- ② 韓国における滞在費
- ③ 「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」への出展費用
- ④ 出発前日の宿泊費（東京都内又は出発空港近郊で宿泊予定）
- ⑤ 出発前日、事前研修会会場から宿舎及び出発当日の出発空港までの貸切バス代

### <参加者負担>

- ・ 自宅から事前説明会会場、帰着空港から自宅までの交通費
- ・ 日程中、公式訪問先に贈る記念品代（3,000円程度）

## (7) 応募書類と応募手続き

### ① 応募フォームからウェブ入力

※「①応募フォーム」に入力・送信すると仮受付され、仮受付の番号が表示されます。この仮受付番号は、次の「②応募自由記述文」、および「③在籍大学の教員による推薦状」各フォームの右上欄に記載していただきますので、番号を控えておいてください。

### ② 応募自由記述文フォームに必要事項を記入

③ 在籍大学の教員による推薦状フォームに在籍大学教員による必要事項の記入を受ける（推薦教員の署名・捺印等が必要） ※推薦者<在学大学の教員：教授、准教授、講師（非常勤含む）>1名が推薦できる学生は3名までとする。

④ 必要事項をすべて記入した「②応募自由記述文」と「③在籍大学の教員による推薦状」を応募書類送付先に郵送

「②応募自由記述文」と「③在籍大学の教員による推薦状」は可能な限り一つの封筒に入れて郵送してください。別送する場合は、その旨をメモ等に記載し、同封してください。

## (8) 応募締切日時

- ◆ ① 「応募フォーム」の送信：平成26年6月12日（木）PM5時
- ◆ ② 「応募自由記述文」と③「在籍大学の教員による推薦状」の郵送：平成26年6月12日（木）当日消印有効

- ・ ファクスや電子メールでの応募は不受理となりますのでご注意ください。
- ・ 郵便物の未着などの事故を防ぐため、発送を記録できる方法（特定記録郵便、書留、宅配便など）での送付をおすすめします。
- ・ 応募締切日時までに①、②、③すべての書類が揃わない応募は不受理となります。

※応募書類各フォームは、当基金ホームページ「日本大学生訪韓研修団団員募集（韓国外交部招聘）について」のページからダウンロード等をしてください。

## (9) 選考・決定

- ① 3つの応募書類（応募フォーム、応募自由記述文、在籍大学の教員による推薦状）の受領が確認できた後、当基金から整理番号を**haken@jkcf.or.jp**のアドレスより電子メールでお送りします。（メールを受信できるように設定してください。）※6月17日（火）を過ぎてもメールを確認できない場合は、お手数ですが、当基金大学生訪韓団担当<TEL: 03(5472)4323>までお電話にてご連絡下さい。
- ② 書類選考通過者には、7月16日（水）から7月18日（金）の午前10時から午後4時の間で応募フォームに入力された「電話面接希望日時」に当基金担当者<TEL: 03(5472)4323>から携帯電話にお電話を差し上げ、電話面接を実施します。（こちらの電話面接において最終選考を行いますので、電話を受けられるように着信拒否を解除しておいてください。）
- ③ 書類選考、電話面接選考を経て、日本国外務省及び韓国側事務局と協議の上、団員を決定します。
- ④ 選考の結果は、7月25日（金）までに当基金ホームページにて団員決定者の整理番号を発表します。
- ⑤ なお、選考過程及び書類審査通過の可否、選考結果の可否や理由等に対するお問い合わせには、一切お答えできませんので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先・応募書類送付先>

公益財団法人 日韓文化交流基金 日本大学生訪韓研修団（韓国外交部招聘）担当

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-12-1 虎ノ門ワイキュービル 4階

TEL 03(5472)4323 FAX 03(5472)4326

e-mail: **haken@jkcf.or.jp**

業務時間：9:30～12:30、13:30～17:30（土日祝日を除く）